

令和元年度の取り組みについて ～介護施設等における生産性向上に資するパイロット事業<北九州市>～

少子高齢化に伴い全国的な課題となっている介護人材不足への対策として、人とテクノロジーの融合による新たな介護の働き方（北九州モデル）の構築をめざし、

1. 北九州モデルの具体化（事業仕分け・ロボット・ICT・元気高齢者活用の三位一体効率化）、
 2. 介護記録、見守りセンサー等のプラットフォーム化の実現（ロボット・ICTの活用）、
 3. 人とテクノロジーが融合して実現する先進的介護ワークショップ開催（介護業務のイメージ改善）、
 4. 介護ロボットマスター育成講習の実施、
- に取組み、令和2年以降の北九州モデルを広げる横展開へとつなげていく。

1. 北九州モデルの具体化 (事業仕分け・ロボット・ICT・元気高齢者活用の三位一体効率化)

(1) 介護ロボット・ICTの可能性を効果的に活用した先進的介護の目標像の具体化

実証で確認できた介護ロボット・ICTの可能性を効果的に活用し、日中及び夜間介護を改革する仮説を基にした実証・分析を行い、理想的な介護現場（人員配置・業務シフト）を具体化し、先進的介護の目標像を構築する。



70代の女性介護職員による移動支援機器の操作 (平成29年度実証)



(2) 介護施設が行う介護ロボット等を活用した働き方等の好事例の提示

北九州市の実証施設（特別養護老人ホーム）が、平成30年度までの介護ロボット・ICTの導入実証を通じて実施してきた働き方改革を、業務上の課題の発見から導入機器の決定、その効果等についてまとめ、北九州モデルの横展開に向けた好事例を作成する。



見守り機器 (平成29年度実証)



2. 介護記録、見守りセンサー等のプラットフォーム化の実現 (ロボット・ICTの活用)

介護記録・見守りセンサー等をプラットフォーム化し、センサー情報や介護記録を自動集約する実証を行い、介護現場のアプリ統一やデータ分析による対象者のQOL向上にむけた支援等を目指す。

3. 先進的介護ワークショップ等の開催 (介護業務のイメージ改善)

地域団体や学生など幅広い世代に北九州市の目指す介護モデルを提案し、新たな介護の担い手を創出するためのワークショップ等を開催し、幅広い世代・多様な人材が介護の魅力を感じてもらえる方策を発信する。

4. 介護ロボットマスター育成講習の実施

介護ロボット・ICTを効果的に活用できる介護の専門人材を育成する。



介護ロボットマスター育成講習 (平成29年度)

《北九州モデル横展開スケジュール》

